

2016年10月19日
株式会社 mediba

仕事復帰を目指すママが「保活」について学び、 悩みを共有できるトークイベント第2弾開催のお知らせ

medibaは、株式会社ノヴィータと共同で、出産した女性が仕事復帰のために子どもを保育園に入所させるための活動、いわゆる「保活」をテーマとしたトークイベント第2弾を2016年10月27日(木)に開催いたします。

前回イベントの大好評を受けて、今回は目黒区、港区にて待機児童問題に取り組むスペシャリストの方々をお呼びし、保活の実態や、最新情報をお伝えします。保活はいつから、何をしたらいいの?など、参加者の疑問にもお答えしつつ、同じ悩みを抱えているママ同士で、思いを共有する機会も設けさせていただきます。

開催概要	
イベント名	育休中ママ必見! 気になる「保活」のホントのところをお話します 第2弾!
日時	2016年10月27日(木) 10:15~12:00
来場対象	主に、以下の悩みを抱えている仕事復帰予定のママ(お子様連れでの参加も可能です) <ul style="list-style-type: none"> ・現在育休中で、来年4月復帰を狙う育休中のママ ・そもそも保育園に入れるかどうか不安なママ ・「正直、保活ってよくわからない」と思っているママ ・「上の子の時とは様子が違いそう」と不安に感じているママ
場所	株式会社mediba http://www.mediba.jp/company/access/tokyo.html
参加費	1,000円
参加方法	下記イベントページからお申し込みください。
URL	https://goo.gl/forms/9cYhasN7sqTXpT473
申込締切	2016年10月25日(火) 12:00まで ※先着順となります。お早めにお申し込みください。

■登壇者プロフィール

・清家あいさん/港区議会議員



港区東麻布生まれ。青山学院大学国際政治経済学部、国際政治学科卒業。産経新聞の記者として7年、主に社会部で事件、行政取材を担当。結婚・出産と仕事の両立に悩み、退社。フリーランスになるも、待機児童のため西麻布で子育てに専念。保育園にも幼稚園にも入れない港区の現状はおかしい！と、ブログ上で現場の声を集め、行政に提言する「港区ママの会」(<http://ameblo.jp/aizeye/>) 発足。2011年4月、港区議会議員選挙5位初当選。2015年4月、同選挙でトップ当選。民進党。港区議会「みなと政策会議」幹事長。地方政治での活動実績に贈られる「2014年度 マニフェスト大賞/ネット選挙・コミュニケーション戦略賞 最優秀賞」受賞。

・山本ひろこさん/目黒区議会議員



1976年生まれ、広島県出身、埼玉大学卒業。以前は外資金融企業のシステムエンジニア。家族は、夫と幼い年子の3姉妹。保育園入所率ワースト1の目黒区にて4年間連続で保活を経験し、行政のありかたに疑問を抱く。2015年4月目黒区議会議員選挙に8位で当選(初出馬ではトップ)。働くママを代弁し、早々に復職したいママにとって、いかに保活が複雑で大変なものか、預け先が見つからない事の重大さを伝え、今すぐできる新たな策を提言し続け、待機児童解消を推進している。日本維新の会、日本税制改革協議会所属。

■LAXIC (ラシク) について (<http://www.laxic.me>)

LAXIC(ラシク)は、多様な職種・働き方をするワーママ&ワーパパや夫婦の形、上司や同僚、そして子供たちにクローズアップしながら、読者が自分らしい働き方を考えるきっかけとなる情報を提供しているWEBメディアです。ワーキングマザーが今後のキャリアを考えていく上のヒントや考え方とともに、読者と同じ目線で、等身大のママの喜びや悩みなどを伝えています。



■camily (キャミリー) について (<http://camily.jp>)

camily(キャミリー)は、働きながら育児をしているママ・パパ、妊娠中のプレママの、仕事と育児の両立を応援するWEBメディアです。仕事(career)をしている、育児まったただ中の家庭(family)を日々の罪悪感から解放し、安心して(relief)もらいたいという思いから始まり、仕事や育児、育休からの復帰、時短テク、平日の夕飯を乗り切る、「平日10分！作りおきレシピ」、育児マンガなどの情報をお届けしています。妊娠月数、子どもの年齢、仕事の状況、地域を設定できるので、その条件に合った、自分がほしい情報を読むことができます。



■株式会社ノヴィータについて (www.novitanet.com/)

ノヴィータは、WEBマーケティングやWEBソリューションを使って、クライアントの課題を解決する会社です。企画・提案、ディレクション、制作、システム開発、マーケティング、人材サービスを課題解決の手段として捉え、各分野の専門性を高め連携。見た目を作るだけでなく運用してPDCAを回し、クライアントのビジネスを拡大させるべく事業を展開しています。また、社会に対して直接価値提供を行うため、自社事業としてWEBを介した新しいサービス、仕組み作りにも注力しています。



■株式会社medibaについて (www.mediba.jp/)

KDDI株式会社のauスマートパスを中心としたメディア事業の他、ソリューション事業、アライアンス事業などを幅広く展開し、ユーザーがインターネットを通じて必要な時に必要な情報にアクセスできる環境づくりのためのサービスを提供しています。※auスマートパスはKDDI株式会社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 mediba (メディーバ) コーポレート企画部 キャリア・コミュニケーショングループ 広報担当
TEL: 03-4316-7566 E-mail: koho@mediba.jp